

R3新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

R4.3.31時点

実施状況	NO.	事業名	担当課
完了	1	地域飲食業経営持続化交付金	政策推進課
完了	2	がんばる観光事業者応援事業費補助金	政策推進課
完了	3	田野畑村産業開発公社運営支援事業	産業振興課
完了	4	給食費支援事業	教育委員会
	5	欠番	
完了	6	子育て支援給付金	生活環境課
完了	7	高等教育支援特別給付金	総務課
完了	8	農林水産団体等コロナ感染予防対策支援事業	産業振興課
完了	9	作業効率化施設整備支援事業	産業振興課
完了	10	地域の一店一商品づくり事業	政策推進課
完了	11	たのはた産品消費拡大支援事業	産業振興課
	12	欠番	
	13	欠番	
	14	欠番	
	15	欠番	
完了	16	三陸鉄道運行維持支援金	政策推進課
完了	17	子育て世帯等臨時特別支援事業	政策推進課
完了	18	農林水産物安定生産支援補助金	政策推進課

事業番号	1
------	---

事業名	地域飲食業経営持続化交付金
-----	---------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少している飲食業者の事業継続を支援し、経営安定を図る
事業概要	田野畑村地域飲食業経営持続化交付金
事業実績・積算根拠等	売上減少(対象：R1比減少率20%以上) R1売上 ①1000万円以上 500千円 ×3事業者 ②500万円～1000万円未満 300千円 ×2事業者 ③200万円～500万円未満 200千円 ×0事業者 ④120万円～240万円未満 100千円 ×1事業者
交付対象者	村内飲食業者

【事業費及び財源】

事業費	2,200,000
交付金	2,200,000
その他財源	0
一般財源	0

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少した飲食業者に対し交付金を交付することで、経営安定の一助となった
事業評価 (波及効果等)	本交付金申請事業者に、新型コロナウイルス感染症の影響により廃業した事業者は出でず、村内経済活動の維持が図られた

事業番号	2
------	---

事業名	がんばる観光事業者応援事業費補助金
-----	-------------------

【事業概要】

事業目的・効果	脱コロナ後の誘客を目指し取り組む宿泊事業者を支援する
事業概要	がんばる観光事業者応援事業費補助金
事業実績・積算根拠等	観光キャンペーン事業費補助 ・宿泊費補助 4,000円×9,562人＝38,248,000円 ・コロナ対策備品購入費補助 1,075,080円 - 非接触体温計 160,600円×3台＝481,800円 - 非接触体温計(ビデ・インターフォン付) 255,200円×1台＝255,200円 - アクリルパーテーション、消毒液、マスク等 338,080円 ・事務費（印刷費、観光船・サッパ船アドベンチャーズ割引代、手数料等） 835,810円
交付対象者	村内事業者（宿泊事業者）

【事業費及び財源】

事業費	40,158,890
交付金	40,000,000
その他財源	
一般財源	158,890

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	村内宿泊事業者（3施設）で構成された田野畑村観光誘客対策協議会への補助を実施し、同補助による観光キャンペーンを利用した宿泊者は9,562名、売上は113,491,730円となり、誘客及び売上増に効果が認められた。また、コロナ対策備品の整備を支援することで、コロナ過の観光受入体制の整備が進んだ。
事業評価 （波及効果等）	宿泊者誘客に効果的に活用され、新型コロナウイルス感染症を原因とする廃業はなく、宿泊事業者の経営支援に効果を上げた。

事業番号	3
------	---

事業名	田野畑村産業開発公社運営支援事業
-----	------------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症の影響で業績が著しく悪化している一般社団法人田野畑村産業開発公社に対し、安定かつ持続的な運営のため、支援金を支給する
事業概要	田野畑村産業開発公社運営支援事業支援金
事業実績・積算根拠等	運営支援金 8,000千円
交付対象者	田野畑村産業開発公社

【事業費及び財源】

事業費	8,000,000
交付金	8,000,000
その他財源	
一般財源	0

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	新型コロナウイルス感染拡大に伴う操業停止の影響を最小限に抑え、感染対策等への支援を行ったうえで経営再開が図られた。
事業評価 (波及効果等)	—

事業番号	4
------	---

事業名	給食費支援事業
-----	---------

【事業概要】

事業目的・効果	小中学校の児童生徒の就学環境を維持するために、児童生徒を持つすべての子育て世帯に対し給食費の一部を支援する
事業概要	R3年4月～R4年3月までの12カ月分給食費
事業実績・積算根拠等	対象者218人（小学生131人、中学生87人） 1食単価：小学生260円/人、中学生300円/人 給食供給期間 小学校 R3.4.8 ～ R4.3.16 中学校 R3.4.5 ～ R4.3.11
交付対象者	－

【事業費及び財源】

事業費	11,397,440
交付金	10,000,000
その他財源	
一般財源	1,397,440

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	児童生徒の給食費を年間を通して減免し、保護者の経済的負担を軽減した。 小学生分 131人 @260円 193食 6,486,690円 中学生分 87人 @300円 192食 4,910,750円 計 218人 11,397,440円
事業評価 （波及効果等）	－

事業番号	6
------	---

事業名	子育て支援給付金
-----	----------

【事業概要】

事業目的・効果	平時より家庭で過ごす時間が増えている子育て世帯の負担軽減
事業概要	中学生までの子どもの人数により、世帯に給付金を支給
事業実績・積算根拠等	298人×20千円＝5,960千円
交付対象者	子育て世帯

【事業費及び財源】

事業費	6,000,000
交付金	4,300,000
その他財源	0
一般財源	1,700,000

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	子育て世帯の家計負担の軽減を図ることができた。
事業評価 (波及効果等)	本村で把握している全ての児童分を給付することができた。 子育て世帯への家計負担を軽減することができた。

事業番号	7
------	---

事業名	高等教育支援特別給付金
-----	-------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症の影響により通常と異なる教育環境下に置かれ、生活が困窮となっている学校教育法に規定する高等学校、大学及び高等専門学校並びに専修学校に在籍する生徒及び学生を持つ世帯の負担軽減
事業概要	対象となる高等学校以上の生徒・学生を持つ世帯の保護者に給付金を支給
事業実績・積算根拠等	高校生 75人 × 30千円 = 2,250千円 大学生等 52人 × 50千円 = 2,600千円
交付対象者	—

【事業費及び財源】

事業費	4,850,000
交付金	4,850,000
その他財源	
一般財源	0

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	通常と異なる教育環境下で高校、大学、専門学校等の子供を持つ世帯の負担軽減のために直接給付金を支給することができた。
事業評価 (波及効果等)	他の給付金と合わせ、 小中学生 ⇒ 20,000円、高校生 ⇒ 30,000円、大学・専門学校生 ⇒ 50,000円 と子育て世代に対してバランスの良い金額設定で支援を行うことができた。

事業番号	8
------	---

事業名	農林水産団体等コロナ感染予防対策支援事業
-----	----------------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を支援する
事業概要	農林水産団体等コロナ感染予防対策支援補助金
事業実績・積算根拠等	感染対策に伴う資機材の購入費補助 農林水産団体等 4団体に補助を実施 ・アルコールディスペンサー（電動式） 128千円(8台)、・アルコールディスペンサー（足踏式） 121千円(10台×12,100円)、 ・非接触型体温計(モニター型) 647千円(4台×161,700円)、・非接触型体温計(手持ち型) 10千円（1台）、 ・アクリルパーテーション 87千円(23枚)、・衝立 71千円(5個×14,190円)、・抗原検査キット 627千円(30個×20,900円)、 ・消毒液 549千円、・除菌シート 115千円(165個×695円)、・不織布マスク(50枚/箱) 548千円(1,920箱)、 ・空気清浄機 1,078千円(12台)、・CO2マネージャー 494千円（18台）、 ・ビニール手袋 3千円（2個×1,646円）、・ハンドソープ 1千円（5個×258円）
交付対象者	農林水産団体等

【事業費及び財源】

事業費	4,478,874
交付金	4,000,000
その他財源	0
一般財源	478,874

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	新型コロナウイルス感染予防対策への支援を行ったことで、感染リスクの軽減につながった。
事業評価 （波及効果等）	—

事業番号	9
------	---

事業名	作業効率化施設整備支援事業
-----	---------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い海外研修生の来日の見通しが立たず、在留研修者の帰国もあり、人員不足が生じている事業者に対し、機械導入費を支援することで作業効率化（現在3人の作業を1人で対応可能とする）を図る
事業概要	作業効率化機械導入費
事業実績・積算根拠等	全自動袋折機 12,760千円×1/2＝6,380千円
交付対象者	サンマッシュ田野畑

【事業費及び財源】

事業費	6,380,000
交付金	6,061,000
その他財源	0
一般財源	319,000

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	機械の導入により、作業の効率化が図られ人員不足を補うことができた（作業効率＋200％）
事業評価 （波及効果等）	機械導入により作業効率低下を補い、生産活動の維持が図られた。

事業番号	10
------	----

事業名	地域の一店一商品づくり事業
-----	---------------

【事業概要】

事業目的・効果	脱コロナ後を見据え、飲食店の代表となる「味」に村内生産物を使用し、レトルト商品等を開発する
事業概要	業務委託費
事業実績・積算根拠等	田野畑の味セット開発業務委託 3,157,000円 村内飲食業者のメニューのレトルト商品等を3点開発した ・道の駅たのはちキンカレー 1,000個 ・鯛寿司すき焼きのタレ 500本 ・松屋パウンドケーキ 500本
交付対象者	—

【事業費及び財源】

事業費	3,157,000
交付金	3,000,000
その他財源	0
一般財源	157,000

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	コロナ禍により、営業自粛せざるを得なく、収入が減少した村内店舗へ、営業再開後の売上に繋がる商品開発支援をした。
事業評価 (波及効果等)	商品開発時のヒアリングにより、各店舗店主の積極的な意見が反映された商品に仕上がった。各店舗、商品開発に携わったことで、コロナ禍ではあるが店舗の活力を生み出した。また、道の駅で商品がお客様の目に触れることにより、店舗の宣伝効果も期待できる。

事業番号	11
------	----

事業名	たのはた産品消費拡大支援事業
-----	----------------

【事業概要】

事業目的・効果	脱コロナ後を見据え、田野畑産品をPRするため、発送費を支援することで消費拡大を目指すもの
事業概要	たのはた産品消費拡大支援事業費補助金
事業実績・積算根拠等	たのはた産品消費拡大支援事業費補助金 【田野畑村産業開発公社】 カタログギフト販売 2,161件 3,099,196円 【思惟の風】 インターネット販売 88件 118,490円
交付対象者	田野畑村産業開発公社、思惟の風

【事業費及び財源】

事業費	3,217,686
交付金	3,000,000
その他財源	0
一般財源	217,686

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	発送費用を支援したことで、村内外から申し込みが寄せられ、田野畑の特産品等の消費拡大が図られた。
事業評価 (波及効果等)	－

事業番号	16
------	----

事業名	三陸鉄道運行維持支援金
-----	-------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症拡大による運賃収入が大幅減少している三陸鉄道株式会社を岩手県及び沿線市町村が支援することにより、地域公共交通を維持しようとするもの
事業概要	三陸鉄道運行維持支援金
事業実績・積算根拠等	支援総額174,000千円のうち県が87,000千円、市町村が87,000千円を負担。市町村分は人口、駅数等により按分。田野畑村負担額は4,160,000円
交付対象者	三陸鉄道株式会社

【事業費及び財源】

事業費	4,160,000
補助金	3,449,000
その他財源	0
一般財源	711,000

【評価】

事業評価 (直接的効果等)	三陸鉄道の経営支援により地域公共交通の維持が図られた
事業評価 (波及効果等)	—

事業番号	17
------	----

事業名	子育て世帯等臨時特別支援事業
-----	----------------

【事業概要】

事業目的・効果	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特別的な給付措置をしようとするもの
事業概要	子育て世帯等臨時特別支援給付金
事業実績・積算根拠等	8人×100千円
交付対象者	子育て世帯（児童手当特例受給区分に該当する児童）

【事業費及び財源】

事業費	800,000
交付金	800,000
その他財源	0
一般財源	0

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	子育て世帯の家計負担の軽減を図ることができた。
事業評価 （波及効果等）	本村で把握している全ての児童分を給付することができた。 子育て世帯への家計負担を軽減することができた。

事業番号	18	事業名	農林水産物安定生産支援補助金
------	----	-----	----------------

【事業概要】

事業目的・効果	農林漁家等の生産の継続・安定及び経営支援並びに生産品の流通支援
事業概要	生産者に対する種子等ほか資機材の購入費及び修繕費支援 農林漁家：1/2（上限100千円）、法人等：1/2（上限500千円）、組合：1/2（上限1,500千円）
事業実績・積算根拠等	種子、種苗、稚魚、資機材購入・修繕 農家 35件 3,426,840円 漁家 49件 4,691,697円 林家 1件 100,000円 法人等 16件 6,737,264円 組合 1件 1,500,000円 （水産振興計画に基づく事業及び組合員の所得向上に繋がる先導的事業に限る）、 一部事務委託費 400千円
交付対象者	村内で農林水・畜産物（加工品を含む）を生産し、出荷、販売している生産者、法人

【事業費及び財源】

事業費	16,855,801
交付金	16,348,000
その他財源	
一般財源	507,801

【評価】

事業評価 （直接的効果等）	資機材購入や修繕等の経費支援により、新型コロナウイルス感染症の影響による単価安等で、収入が減少している農林漁家等の生産活動の継続につながった。
事業評価 （波及効果等）	経費支援により農林漁家等の生産意欲の向上が図られた。